

【復興支援道路】 一般国道107号(仮称)梁川トンネル築造工事の 安全祈願祭開催！！

～ 「復興道路」へのアクセス向上に向けてトンネル掘削工事に本格着工～

県南広域振興局土木部

県が「復興支援道路」として奥州市江刺区梁川地内から北上市口内町地内で整備を進めている一般国道107号^{やながわ ぐちない}梁川～口内^{やながわ}工区について、主要構造物である(仮称)梁川トンネル(L=1,022m)の掘削工事に本格着工することに伴い、平成29年3月27日に工事受注者主催による安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、県、北上市、奥州市、地権者、工事関係者等約100名が出席し、工事の安全と早期完成を祈願しました。

トンネル工事は、終点(北上市)側坑口部から掘削を進め、平成29年4月末時点で約150m(約14%)まで掘削が進んでいます。今後、平成30年10月のトンネル本體工完成に向けて、本格的に掘削工事等を進めて行きます。

県では、平成29年度からスタートしている第3期復興実施計画に基づき、復興事業の総仕上げを視野に、復興の先を見据えた地域振興にも取り組んでいくこととしており、梁川～口内工区についても早期完成に向けて全力で事業を推進して行きます。

(仮称)梁川トンネル終点(北上市)側坑口部



安全祈願祭の状況



地鎮の儀(関係者による鉄入れ)



玉串奉奠



【梁川～口内工区の事業概要】

一般国道107号は、沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路であり、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の際は緊急輸送道路として大きな役割を果たしたことから、県では、岩手県東日本大震災津波復興計画（三陸復興道路整備事業）において「復興支援道路」に位置づけ、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を目指しています。

一般国道107号の奥州市江刺区梁川から北上市口内町の区間は、急カーブや急勾配が連続する隘路となっており、交通事故が多発するなど安全で円滑な通行の支障となっていることから、県が平成25年度から梁川～口内工区の整備を進めています。

梁川～口内工区の整備により、「復興道路」である東北横断自動車道釜石秋田線江刺田瀬ICへのアクセス性が向上し、工業集積地である県南地域と重要港湾等が位置する沿岸部を結ぶ道路ネットワークが強化され物流の効率化や産業振興等が図られるほか、峠部へのトンネル整備により冬期間の交通環境が大きく改善されます。

